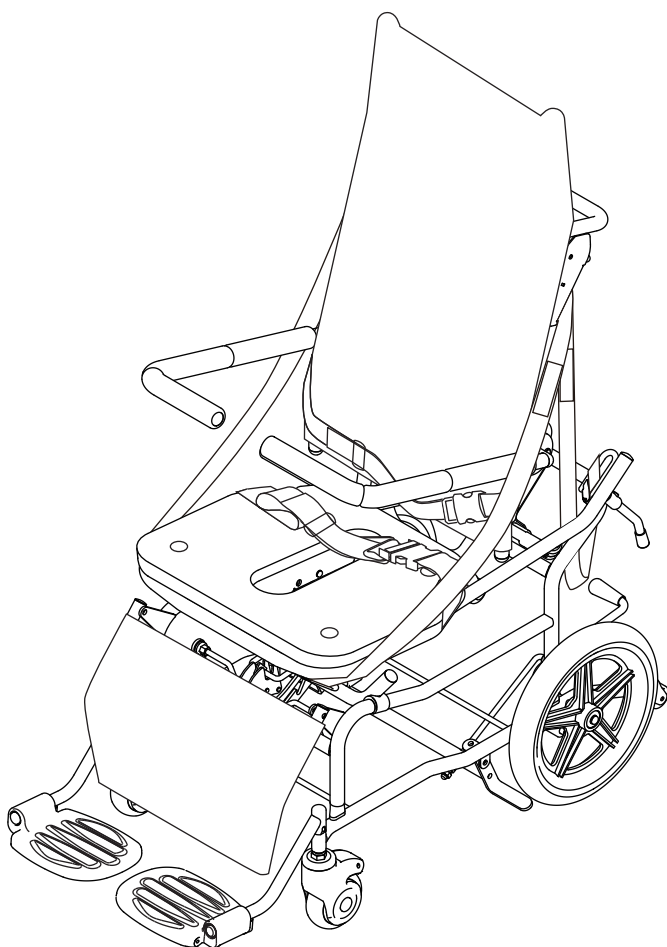


ソエルキャリー＋ 型番 CX-SC-201



取扱説明書

目次

まえがき	2
表示記号のご説明	2
梱包内容	3
組立	4
ソエルキャリー＋ CX-SC-201 について	5
使用目的	5
特長	5
各部の名称	6
ご使用になる前に	7
安全上の注意	7
使用前点検	12
使用方法	13
ブレーキ	13
フットサポート	14
レッグサポート	15
アームサポート	16
チルト・リクライニング	17
ネットの調整・着脱	19
マットの着脱	20
安全ベルト	21
吊ベルト	23
リフト入浴	25
日常のお手入れ	29
お手入れ方法	29
消耗品の名称	30
消耗品の交換時期	31
トラブルシューティング	32
ご使用期間とアフターサービスについて	33
ご使用期間について	33
修理を依頼されるときは	33
仕様	34

保証書

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

なお、この取扱説明書には、保証書が付いております。

取扱説明書の内容、および保証書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

本製品を安全にご使用いただくには、本書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、ご使用ください。

本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。

また、本書で説明している使用方法および安全に関する注意事項は、本製品を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。本書で説明していない使用方法是、行わないでください。

仕様の変更により、本書の内容の中に、お買上げの製品と詳細において異なる場合があります。

お買上げの製品または本書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先または弊社までお問合せください。

表示記号のご説明

本製品および本書には、使用者および他の人への危害や損害を未然に防ぐため、安全上の注意を次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味を十分にご理解のうえ、安全上の注意を必ずお守りください。

●表示の意味

⚠ 危険…誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う深刻な危険が予想される内容を説明しています。

⚠ 警告…誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を説明しています。

⚠ 注意…誤った取扱いをすると、人がケガを負う可能性および本製品の故障につながる可能性が予想される内容を説明しています。

注意…本製品の故障を防ぐための注意事項や、より快適にご使用いただくためのアドバイスなどの内容を説明しています。

●記号の意味

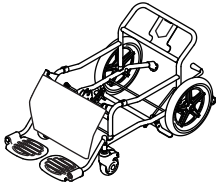
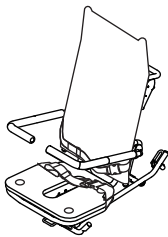
⊘ 禁止することを説明しています。

⚠ 注意することを説明しています。

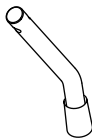
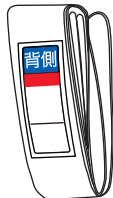
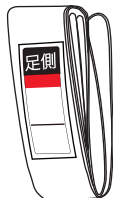
❗ 強いお願いをすることを説明しています。

梱包内容

梱包内容を以下に示しています。これを参考のうえ、欠品がないかご確認ください。
万が一、欠品がありましたらご購入先または弊社までお問合せください。

品名	個数	
キャリー部	1	
シート部	1	
付属品	1	
取扱説明書 (本書)	1	

付属品

品名	規格	個数	
転倒防止バー		2	
六角穴付ボルト	ネジロック剤付 M6×10	2	
背側吊ベルト		2	
足側吊ベルト		2	

組立

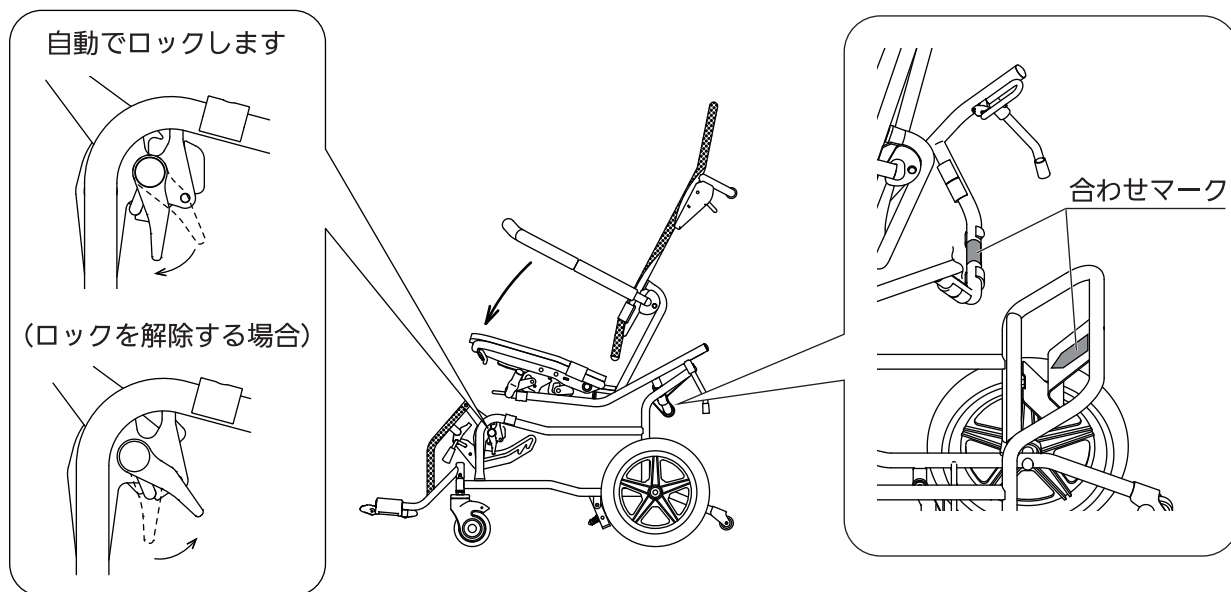
転倒防止バーをシート後方に取付けます。（2ヵ所）

工具は付属していませんので、ご用意ください。

【六角穴付ボルト（ネジロック剤付 M6×10）2個、六角レンチ（対辺5）】

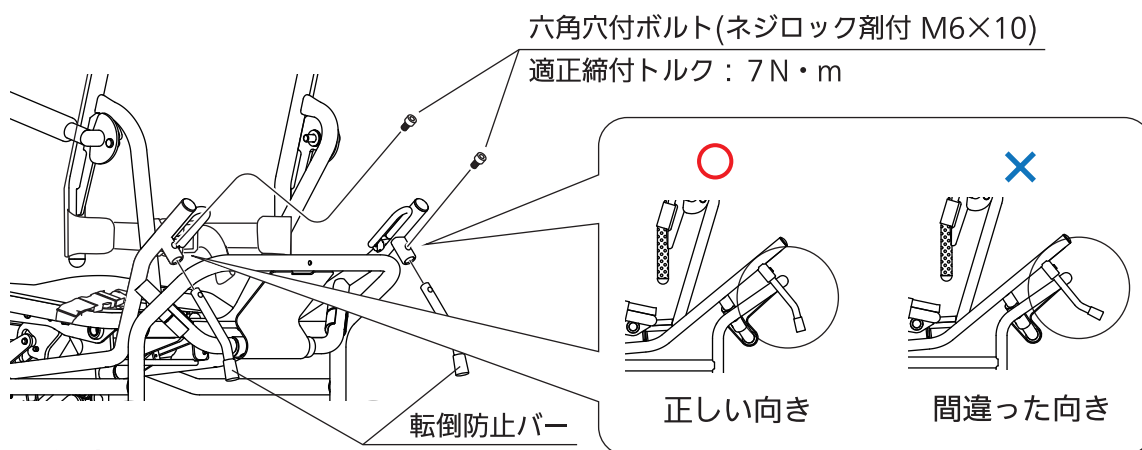
①シートをキャリーに接続します。

後方にある合わせマークの位置を合わせながら、シートの後方をキャリーのへこみ部分に降ろした後、シート前方を降ろすと自動でロックがかかります。シート前方を先に降ろした場合は、シートが正しく接続できません。一度ロックを解除し、再度接続をやり直してください。



②転倒防止バーをシート後方に取付けます。（2ヵ所）

向きを間違えないよう注意してください。



注意

	締め付け後、増し締めや締め直しはしないでください。 …ネジロック剤の十分な緩み止め効果が得られなくなります。
	締め付け後の24時間は水につけないでください。 …ネジロック剤の十分な緩み止め効果が得られなくなります。

③吊ベルトを本書23ページを参照し、取付けてください。

ソエルキャリア＋ CX-SC-201について

使用目的

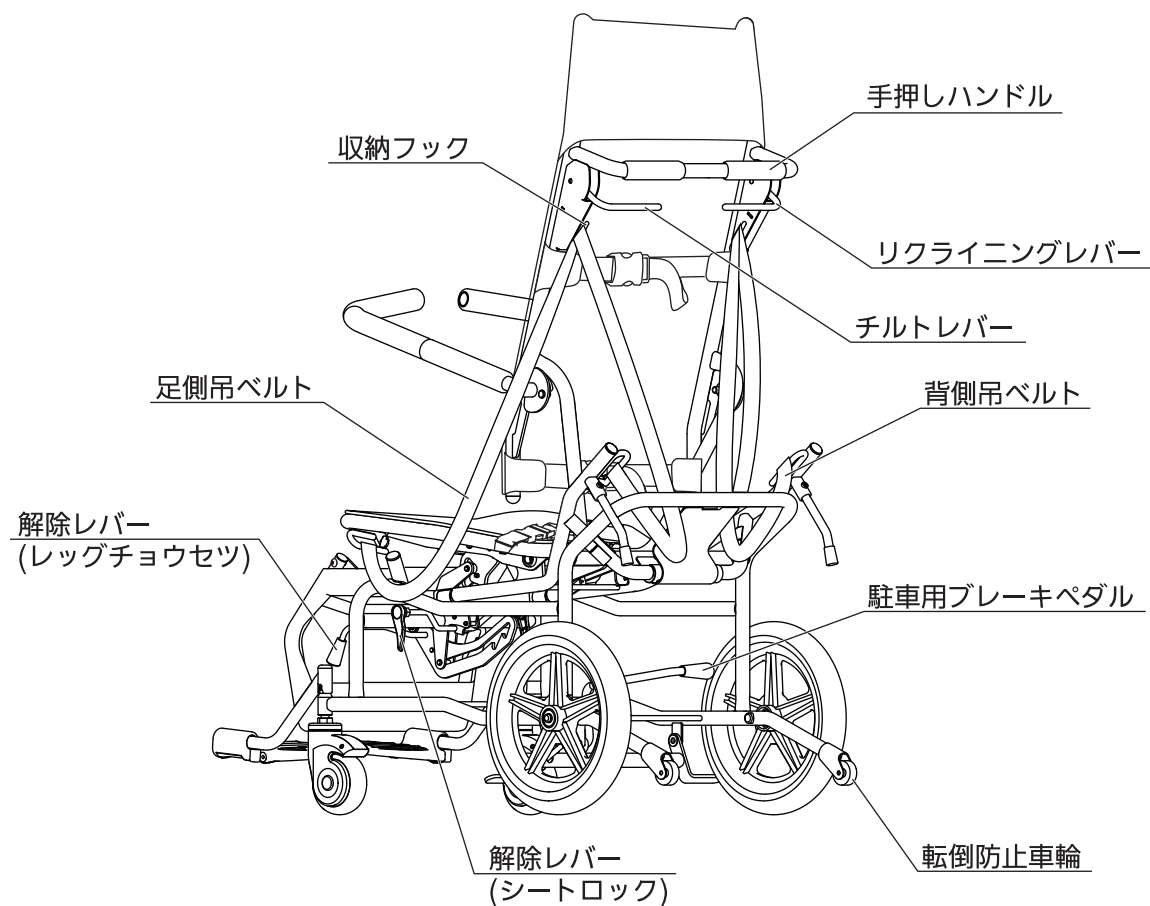
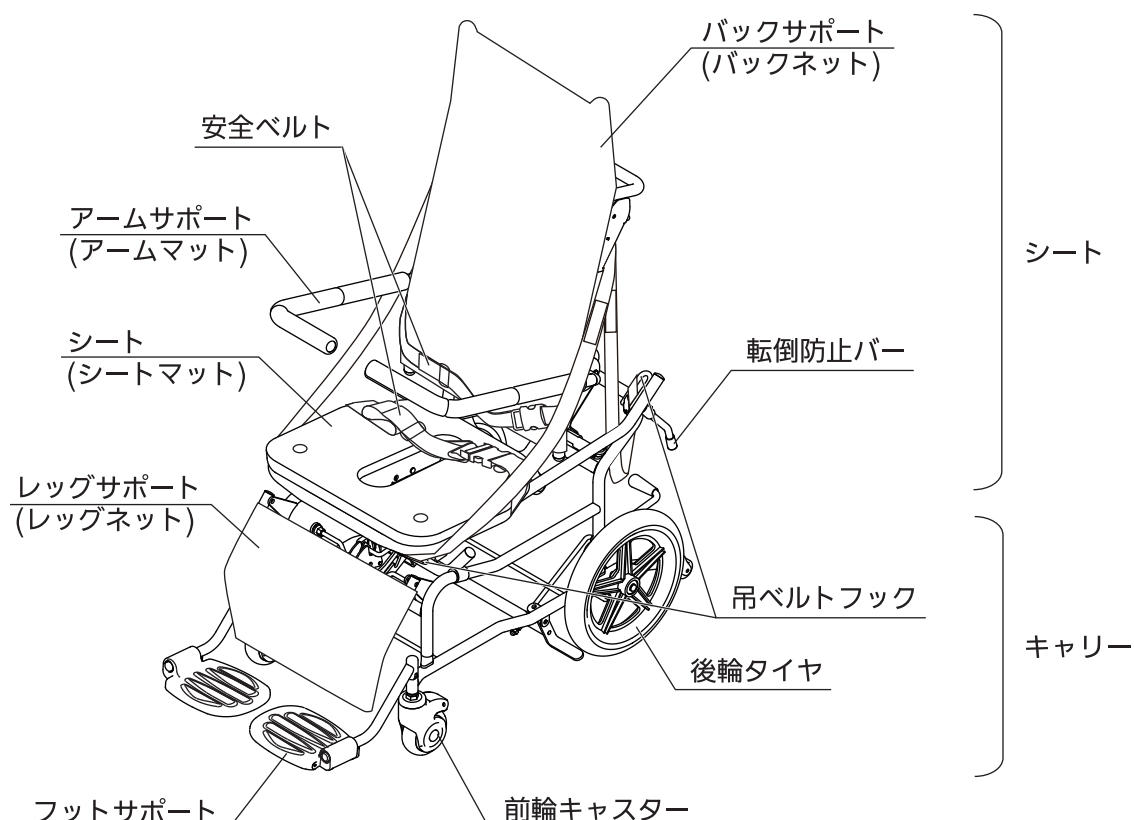
座位の取れるご利用者を浴室まで搬送し、リフトなどで吊上げて入浴させるための浴室介護用キャリアです。

特 長

- ・シートとキャリアを簡単に分離、接続できます。
- ・2段階のチルトとリクライニング機能により、ご利用者の前すべり防止や、ご利用者に合わせた姿勢変換ができます。また、チルトやリクライニングさせた状態で吊上げて入浴できます。
- ・いす式なので、吊り具のような窮屈感がなく、ゆったりと入浴できます。
- ・3段階のレッグサポートの角度調節により、ひざが曲げられない方も足を伸ばした状態で搬送できます。
- ・足と腰の安全ベルトでご利用者の転落や入浴時の浮上がりを防止します。

ソエルキャリー+ CX-SC-201について

各部の名称



ご使用になる前に

安全上の注意

次の内容および本製品に示された安全上の注意事項を必ずお守りください。
これら安全上の注意事項以外であっても、無理な使用はしないでください。

●安全上の注意

⚠ 危険

	本製品の耐荷重は100 kgです。100 kgを超える方には使用しないでください。
	本製品は1人用です。必ず1人の方にご使用ください。
	本製品に修理が必要な場合は使用を中止し、ご購入先または弊社までお問合せください。
	本製品の改造はしないでください。改造が必要な場合は、ご購入先または弊社までお問合せください。 …事故や故障の原因になります。
	小さなお子様や取扱説明書の内容が十分ご理解ができないと思われる方には操作させないでください。また、いたずらや本製品の目的以外での使用はしないでください。
	本体に貼付けてあるシールの内容は、安全上および本製品を正しくご使用いただくために非常に重要です。必ずお守りください。
	介助者は、ご利用者を乗せたまま本体から離れないでください。
	体動のはげしい方や、シートに座った時に座位が安定しない方がご利用になるときは、ご利用者から離れず十分に安全を確保したうえでご使用ください。ご利用者の安全を確保できない場合はご使用をお控えください。
	本製品がぬれたまま浴室外を走行しないでください。 …床をぬらし、転倒の恐れがあります。
	ご利用者を乗せたときは、転落防止のため、必ずアームサポートを下ろし、安全ベルトを締めてご使用ください。

⚠ 注意

	本製品を使用するときは、周囲の安全を確認してから操作してください。 …特にシートを分離・接続するときは、足場が安定しているか確認してください。
	介助者は、本体に乗ったり寄りかかったりして介助しないでください。
	本製品のシートとキャリーは他機種との接続はしないでください。 …事故や故障の原因になります。

注意

	高熱を発するものの近くには置かないでください。 …異常過熱による故障、火傷、火災の原因になります。
	直射日光の当たる所に放置しないでください。 …長時間直射日光が当たると製品劣化の原因になります。
	温泉水では使用しないでください。

● 移乗時・駐車時の安全上の注意

⚠ 危険

	ご利用者の乗せかえは、傾斜のない所で必ずブレーキをかけてから行ってください。
	フットサポートの上で立上らないでください。 …転倒の恐れがあります。
	シートに座るときは、ドスンと勢いよく座らせないでください。 …転倒、ケガなどの危険や、故障の原因になります。

⚠ 注意

	ブレーキをかけて本体を駐車する場合は、必ず傾斜のない所をお選びください。
	浴室内は滑りやすく、また排水のために床面に傾斜がついています。ブレーキをかけた状態でも操作は慎重にしてください。
	ご利用者は、シートの中央に乗せてください。 …かたよった乗せ方は、転落、転倒、はさみ込みなどの恐れがあります。
	ご利用者の乗り降りは、必ず介助者が十分な介助をし、安全に行ってください。 ご利用者お1人で乗り降りしないでください。
	ご利用者が乗っている状態で本体を持上げての移動はしないでください。
	無垢材の床に本製品を保管するときは、マットなどを敷いてキャスターが床に直接触れないようにしてください。 …床の材質によっては、数時間同じ場所に置くと、キャスターが床にシミをつける恐れがあります。

ご使用になる前に

●ご利用者搬送時・移動時の安全上の注意

⚠ 危険

	床面の段差には十分注意して走行してください。 …転倒、ケガなどの恐れがあります。
	段差や凸凹のある路面などを走行するときは、前のめりにならないように注意して操作してください。

⚠ 注意

	搬送中にスロープなどの傾斜を通るときは、上るときも下るときも介助者が傾斜の下側になるようにしてください。本体が下側になるような状態でのご使用は、危険なためしないでください。  
	介助者は、ご利用者の身体が後輪タイヤ、前輪キャスターおよび本体フレームにはさまれてなく、確実にシートに座っていることを確認してから操作してください。特に足はフットサポートまたはレッグサポートから落ちることのないように注意してください。
	ご利用者を乗せたときは、介助者は常に安全を確認しながら、操作・走行をしてください。

注意

	アームサポートをご利用者搬送時、本体移動時の持ち手として使用しないでください。 …故障の原因になります。
	前輪キャスターおよび後輪タイヤは消耗品です。しっかり固定されているのにがたつくとき、タイヤ表面にひび割れや劣化が現れたときは、使用を中止し、新品に交換してください。 …転倒、ケガなどの恐れがあります。

ご使用になる前に

●シートの分離（吊上げ）時・接続時の注意

⚠ 危険

	吊上げ時は、前後、横方向にバランスを崩し、転落、転倒しないよう十分注意し、介助してください。
	各吊ベルトに切れ目やほつれが発生した場合は、直ちに使用を中止し新しいものに交換してください。 …切れ目やほつれが発生したまま使用をつづけると落下やケガの原因になります。
	吊ベルトは、背側・足側を逆に付けていないか、ベルトの通し方を間違えていないか、ベルトの途中に引っかかりがないか確認してください。（本書 23 ページ参照） …吊上げ、入浴の際にバランスを崩し、転倒、転落する恐れがあります。
	吊上げるときは、必ず吊ベルトの全てのループが、吊ベルトフックおよびリフトなどのハンガーフックに正しく確実にかけられているか確認してください。 …バランスを崩し、転倒、転落する恐れがあります。

⚠ 警告

	吊上げるときは、バックサポートにしっかりとめられるような姿勢にしてください。 …アームサポートに寄りかかるように前傾姿勢をとると、バランスを崩し、転倒、転落する恐れがあります。
	シートとキャリーを接続した後は、必ずロックがかかっていることを確認してください。 …シートが不意に外れ、転倒する恐れがあります。

⚠ 注意

	吊ベルトをリフトのハンガーにかける際は、ハンガーをご利用者にぶつけないよう十分注意してください。
	吊上げるときは、必ずシートのロックを解除したか確認してください。 …ロックしたまま吊上げると、キャリーごと吊上がり、事故や故障の原因になります。
	シートロックの解除レバーはご利用者に操作させないでください。 …転倒や転落の恐れがあります。
	吊上げ時はチルト・リクライニングレバーは操作しないでください。 …事故や故障の原因になります。
	シートとキャリーを接続するときは、ご利用者の転落、転倒、手足（身体）のはさみ込みや物のはさみ込みに十分注意してください。

ご使用になる前に

●入浴介助時の安全上の注意

⚠ 危険

	入浴介助時のご利用者のそばから離れないでください。 …ご利用者が溺れる危険があります。
	下肢の欠損障害がある方を吊上げ、入浴させる際は、バランスを崩し後方に転倒する危険があります。後方転倒の恐れがある場合は使用しないでください。
	入浴中は浮力による転倒を防ぐため、吊ベルトにたるみが無い状態で入浴させてください。

⚠ 警告

	シートを吊上げるときは、ご利用者の手や上半身がシートからはみ出さないようにしてください。また、ご利用者はシート中央に乗せてシートが左右に傾かないように注意してください。なお、シートが左右に傾かないように座ることのできない方には使用しないでください。
---	--

⚠ 注意

	シートの下から手を入れ洗体介助する場合は、チルト・リクライニング機構にふれないよう注意してください。 …不意にチルト・リクライニングのロックが外れ、転落、転倒、はさみ込みなどの恐れがあります。
	バスタブに降ろす際は、ご利用者の手足（身体）のはさみ込みや物のはさみ込みに十分注意してください。
	バスタブに降ろす際にご利用者がのけぞったり、足でつっぱったりするなどしてバランスを崩し、転倒、転落しないよう十分注意してください。
	退浴するときは、ご利用者がシート中央にきちんと乗るよう、浮力を利用し姿勢を直してから退浴してください。 …転落、転倒の恐れがあります。
	バスタブに降ろす際にシート（転倒防止バー、チルトレバー、リクライニングレバー、手押しハンドルなど）がバスタブのふちに引っかからないよう注意してください。 …バランスを崩し、転倒、転落する恐れがあります。
	立て膝の状態に入浴する場合は、足側の安全ベルトを締めすぎていると、足が圧迫される恐れがあります。入浴中の姿勢に応じてベルトの締め加減が適切か確認してください。

ご使用になる前に

使用前点検

ご使用前に、毎回必ず点検をし、項目をすべてクリアした場合に限りご使用ください。
ひとつでもクリアできない項目があった場合は使用を中止し、対処方法に従ってください。

使用前点検項目

前輪キャスター・後輪タイヤに
ガタつきはありませんか。
(ガタつくとき→NO)



ブレーキはかかりますか。
(かからないとき→NO)



シートとキャリーのロックは
かかりますか。
(かからないとき→NO)



チルト・リクライニングはできますか。
(できないとき→NO)



ネットとマットは本体に
きちんと取付けられていますか。
(取付けられていないとき→NO)



安全ベルトは本体に
きちんと取付けられていますか。
(取付けられていないとき→NO)



吊ベルトは本体に
きちんと取付けられていますか。
(取付けられていないとき→NO)



消耗品は大丈夫ですか。
本書 30～31 ページ参照。
(交換時期になっているとき→NO)



対処方法

使用を中止し、ご購入先または
弊社までご連絡ください。

きちんと取付けてください。
(本書 19～20 ページ参照)

きちんと取付けてください。
(本書 21～22 ページ参照)

きちんと取付けてください。
(本書 23～24 ページ参照)

使用を中止し、ご購入先または
弊社までご連絡ください。

⚠ 注意

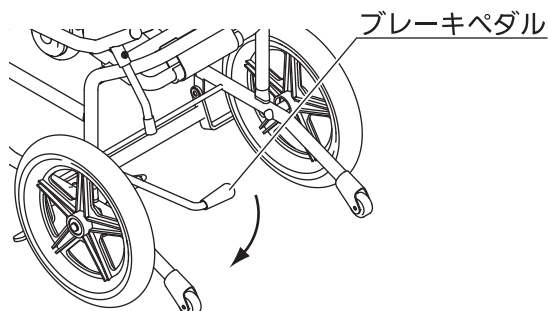


使用前点検項目以外でも、おかしいと感じたり、今までと違うような気がした場合は、絶対に使用せず、ご購入先または弊社までお問合せください。お客様の判断で本書に示されていない内容の対処はしないでください。

ブレーキ

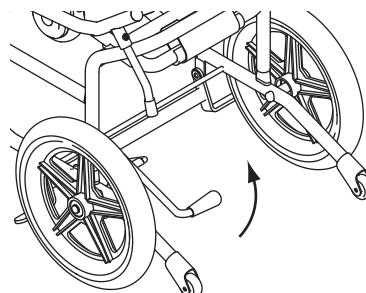
●ブレーキをかける

ブレーキペダルを踏込むとブレーキがかかります。



●ブレーキを解除する

ブレーキペダルを上方にはね上げるとブレーキが解除されます。



注意



ブレーキペダルの上に乗ったり、必要以上に強く操作しないでください。
…事故、故障の原因になります。

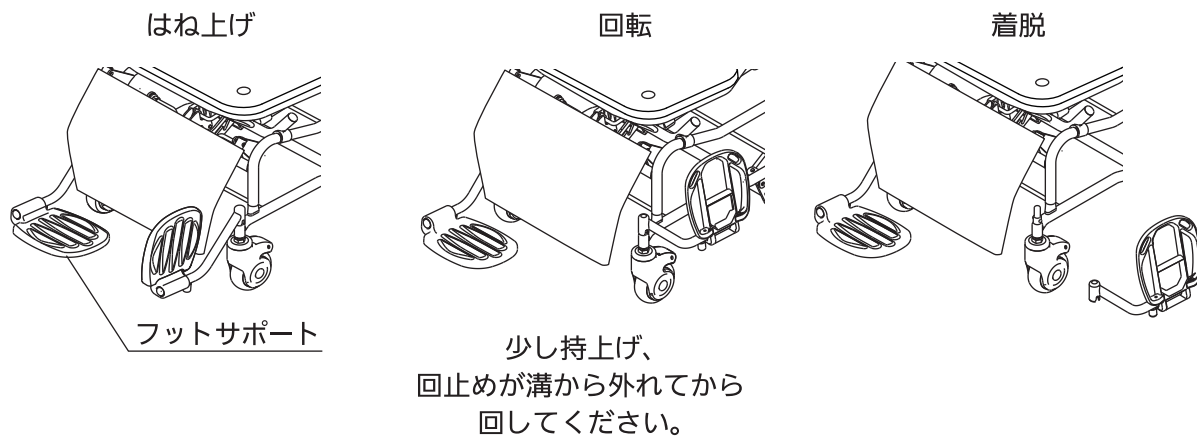
アドバイス

長時間ブレーキをかけると、タイヤが圧迫により変形します。使用されないときは、なるべくブレーキをかけないでください。

使用方法

フットサポート

移乗のとき、邪魔にならないよう、はね上げ・回転・着脱ができます。



⚠ 注意

	フットサポートを回転させるときは、指（身体）のはさみ込みに注意してください。	
	搬送中はご利用者の足がフットサポートから落ちないようにしてください。フットサポートとレッグサポートのすき間からかかとが脱落しないように注意してください。	
	フットサポートを外した状態でご利用者を搬送しないでください。 …足がキャスターに巻込まれケガをする恐れがあります。	

注意

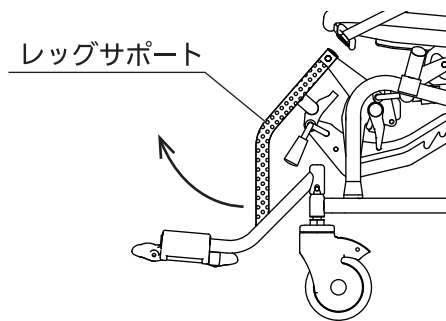
	フットサポートを取付けるときは、指（身体）のはさみ込みに注意してください。	
	フットサポートを取付けるときは、回止めがきちんと溝にかかっていることを確認してください。	
	フットサポートを持って本体を持上げないでください。 …フットサポートが外れ、本体が落下し危険です。	

レッグサポート

レッグサポートは3段階に角度調節できます。

●持上げるとき

そのまま持上げます。

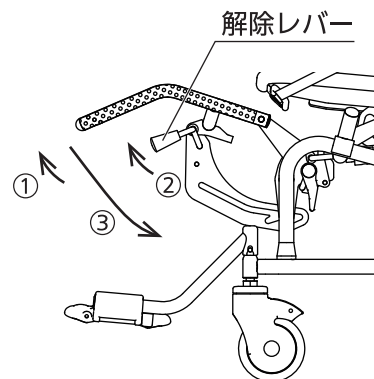


●戻すとき

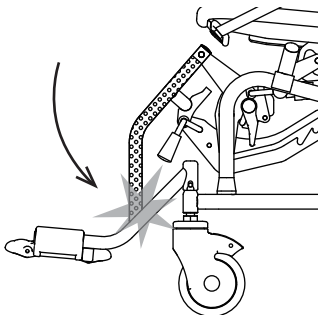
①レッグサポートを少し持上げます。

②解除レバーを図の矢印の向きに操作します。

③そのままレッグサポートを降ろします。



⚠ 注意

	レッグサポートを戻すときは、指（身体）のはさみ込みに注意してください。 
	ひざが曲げられない方を足を伸ばした状態で搬送するときは、足を壁などにぶつけないよう十分注意してください。

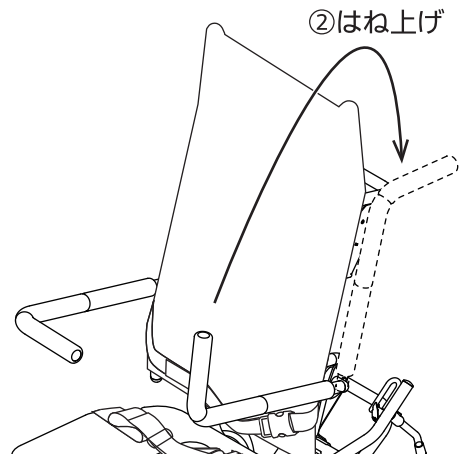
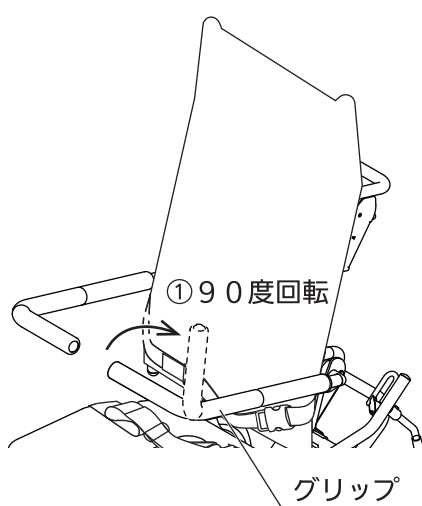
アドバイス

フットサポートをはね上げた状態ではレッグサポートと干渉します。フットサポートを下ろした状態で操作してください。

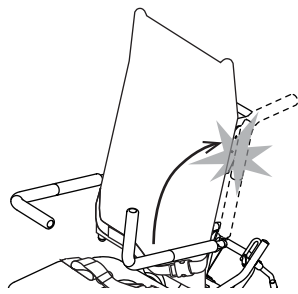
使用方法

アームサポート

移乗のとき、邪魔にならないよう、はね上げることができます。
グリップを 90 度回転させ、後方へはね上げます。



⚠ 危険

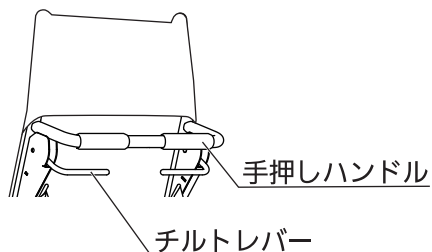
!	ご利用者を乗せたときは、転落防止のため、必ずアームサポートを下ろしてご使用ください。
!	はね上げるときは、指（身体）のはさみ込みに注意してください。 

注意

⊘	はね上げるときも、下ろすときも勢いよく操作せず、支えながらゆっくり操作してください。 …ケガ、故障の原因になります。
---	---

チルト・リクライニング

手押しハンドル左側のレバーを握ると、シートをチルトすることができます。

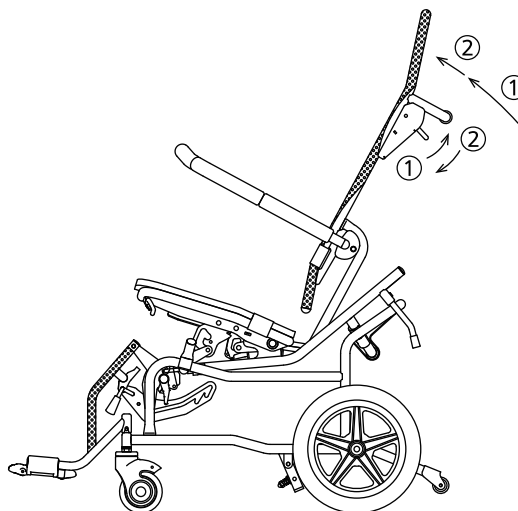
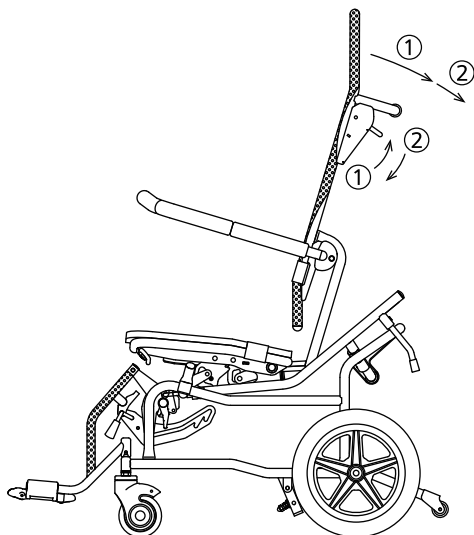


●チルトするとき

- ①チルトレバーを握り、そのままバックサポートを後ろにゆっくり倒します。
- ②ロックがかかる少し手前でレバーを放し、カチャンとロックする位置まで倒します。軽く前後に動かし、ロックがきちんとかかっているか確認します。

●チルトを戻すとき

- ①チルトレバーを握り、そのままバックサポートを前にゆっくり起こします。
- ②ロックがかかる少し手前でレバーを放し、カチャンとロックする位置まで起こします。軽く前後に動かし、ロックがきちんとかかっているか確認します。



⚠ 注意

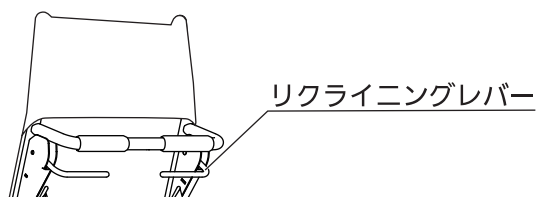
!	操作は、必ずブレーキをかけてから行なってください。
!	ご利用者が深く腰かけた状態で行なってください。 …前方や横方向に寄りかかった状態では、ご利用者がバランスを崩し、転落、転倒する危険があります。

アドバイス

- 勢いよく倒れたり、起きたりしないよう手押しハンドルをしっかり持ち、支えながらゆっくり操作してください。
- 最後までレバーを握ったままにすると、ロックがかからない場合があります。その場合は、レバーを放し、バックサポートを軽く前後に動かすと、カチャンとロックします。

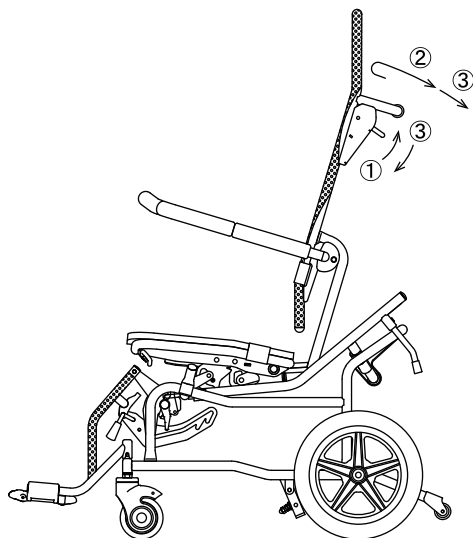
使用方法

手押しハンドル右側のレバーを握ると、バックサポートをリクライニングすることができます。



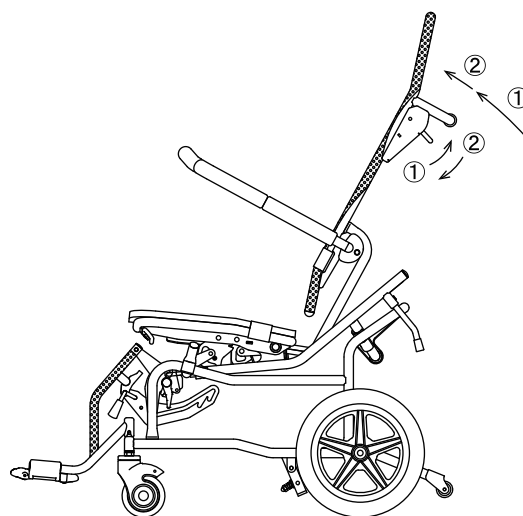
●リクライニングするとき

- ①リクライニングレバーを握ります。
- ②バックサポートを少し前に起こし、カチャンとロックが外れたあと、ゆっくり後ろに倒します。
(人が乗っていない場合など、バックサポートへの負荷が軽い場合は、レバーを握るとそのまま倒れます。)
- ③ロックがかかる少し手前でレバーを放し、カチャンとロックする位置まで倒します。軽く前後に動かし、ロックがきちんとかかっているか確認します。



●リクライニングを戻すとき

- ①リクライニングレバーを握り、そのままバックサポートを前にゆっくり起こします。
- ②ロックがかかる少し手前でレバーを放し、カチャンとロックする位置まで起こします。軽く前後に動かし、ロックがきちんとかかっているか確認します。



⚠ 注意

!	操作は、必ずブレーキをかけてから行なってください。
!	ご利用者が深く腰かけた状態で行なってください。 …前方や横方向に寄りかかった状態では、ご利用者がバランスを崩し、転落、転倒する恐れがあります。

アドバイス

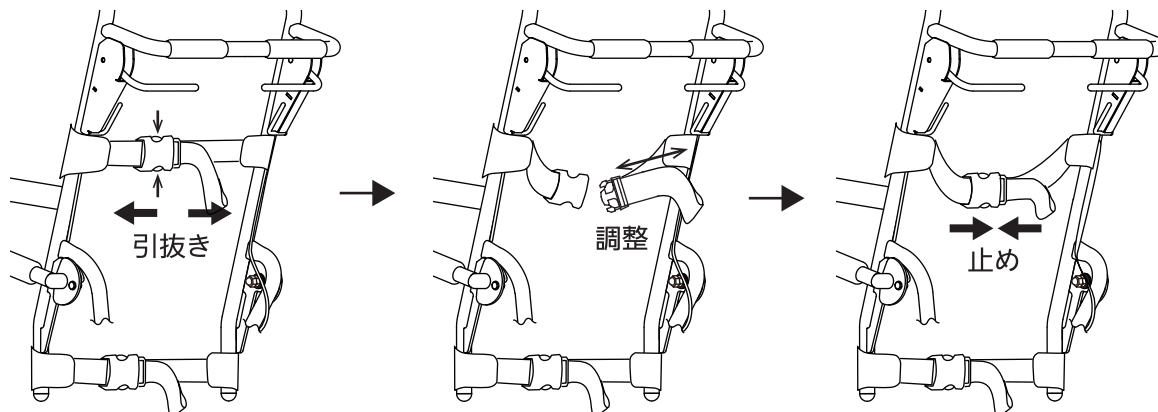
- 勢いよく倒れたりしないよう手押しハンドルをしっかり持ち、支えながらゆっくり操作してください。
- 最後までレバーを握ったままにすると、ロックがかからない場合があります。その場合は、レバーを放し、バックサポートを軽く前後に動かすと、カチャンとロックします。

ネットの調整・着脱

●調整

ネットは張りの調整ができます。

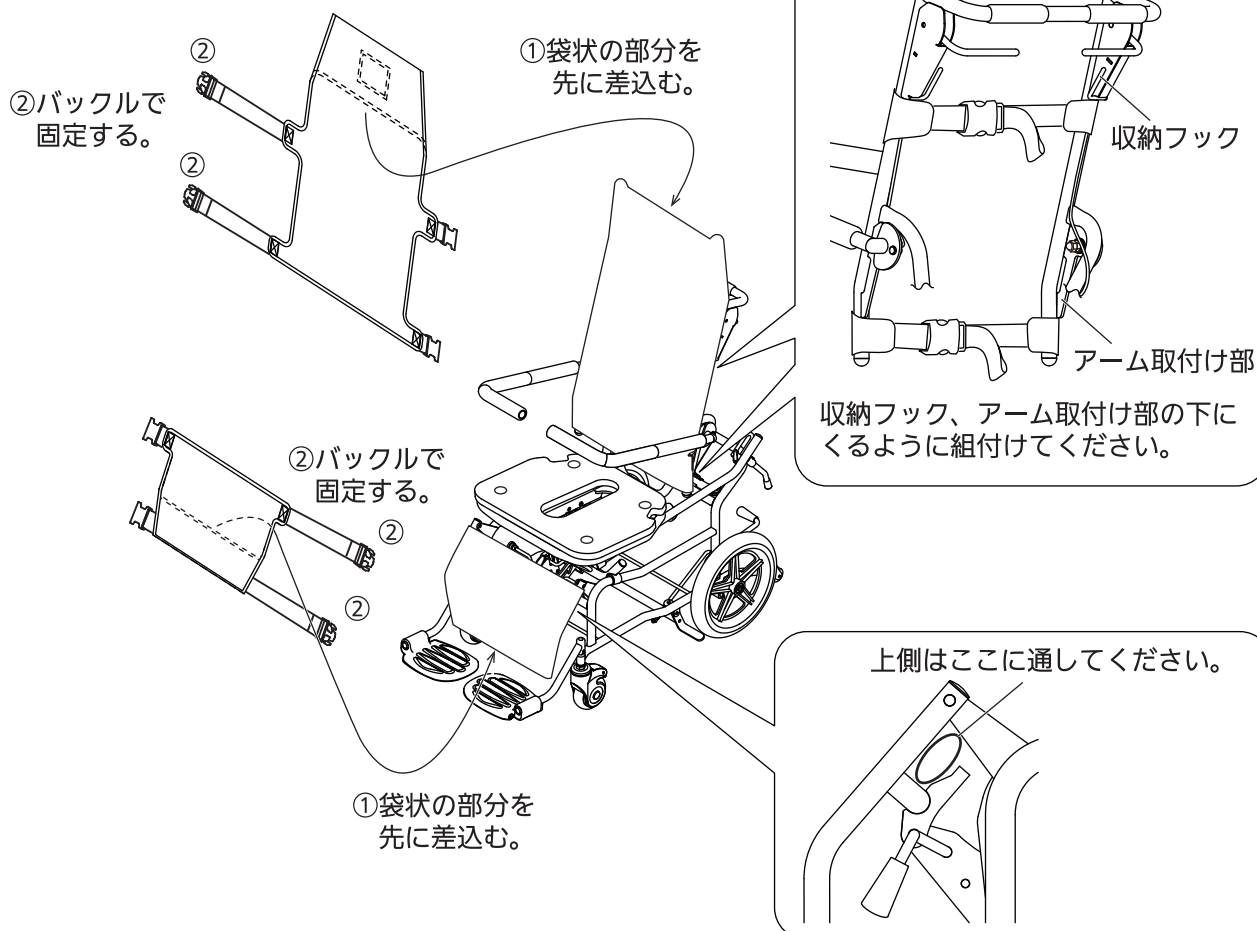
バックルの両側を押さえて引抜き、長さを調整したあと、再度止めます。



アドバイス

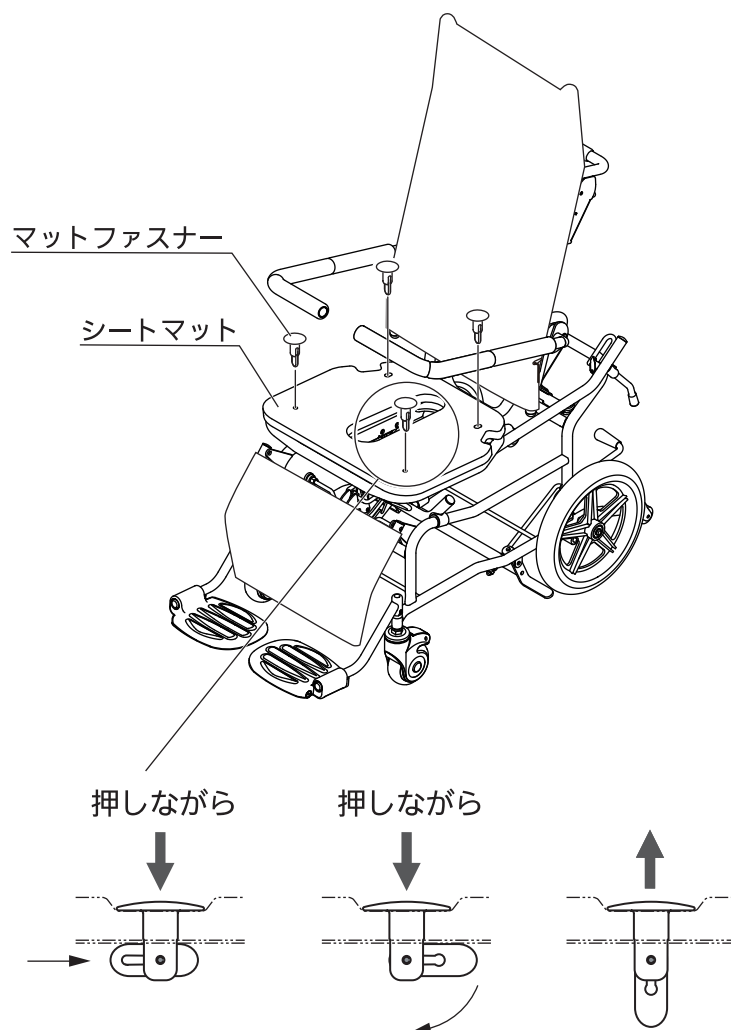
摩耗により劣化が早くなるため、バックルを引っ張るようにして長さの調整はしないでください。
ベルトを徐々にゆるめるようにして調整してください。

●着脱



マットの着脱

マットファスナーを外すと、シートマットを取外すことができます。



取付けは逆の手順で行ってください。

注意



マットファスナー（4個）の紛失に注意してください。



安全ベルト

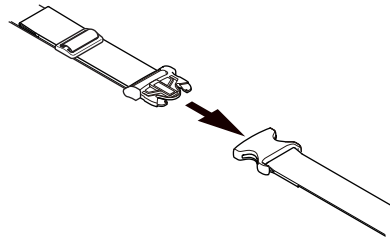
⚠ 危険



ご利用者を乗せたときは、転落防止のため、必ず安全ベルトを着用してください。

● 付けるとき

バックルを合わせて差込みます。



⚠ 注意



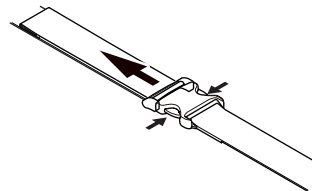
バックルを差込むときはご利用者の皮膚をはさまないようにしてください。



安全ベルトを着用したときは軽く引っ張り、確実に付けられていることを確認してください。

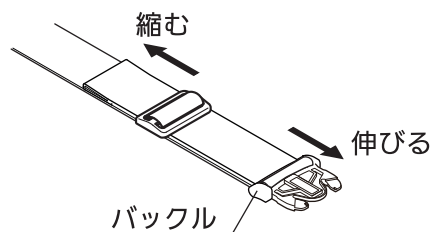
● 外すとき

バックルの両側を押さえて引抜きます。



● 長さを調整するとき

安全ベルトを着用したときに、ご利用者とベルトの間に握りこぶしが1つ入るくらいの長さに調整します。



アドバイス

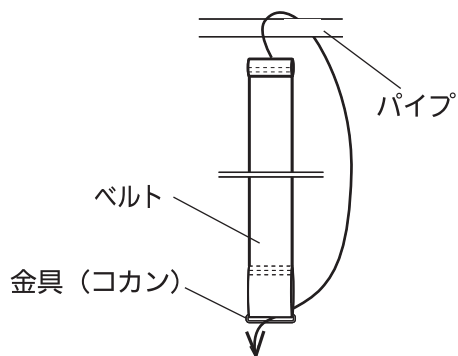
摩耗により劣化が早くなるため、バックルを引っばるようになって長さの調整はしないでください。

使用方法

●シートに取付けるとき

図のように通します。

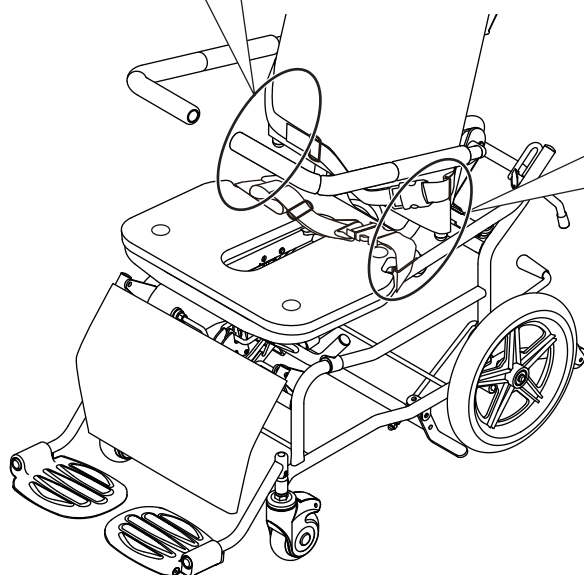
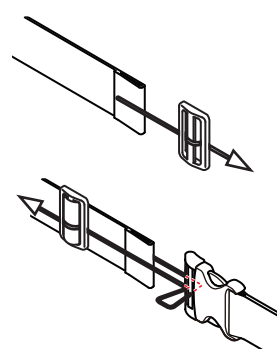
ベルト(バックル無し側)の取付け方



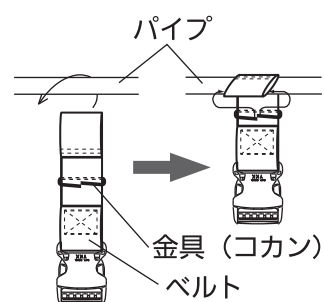
本体への通し方



ベルトの通し方



ベルト(バックル有り側)の取付け方



本体への通し方



⚠ 危険



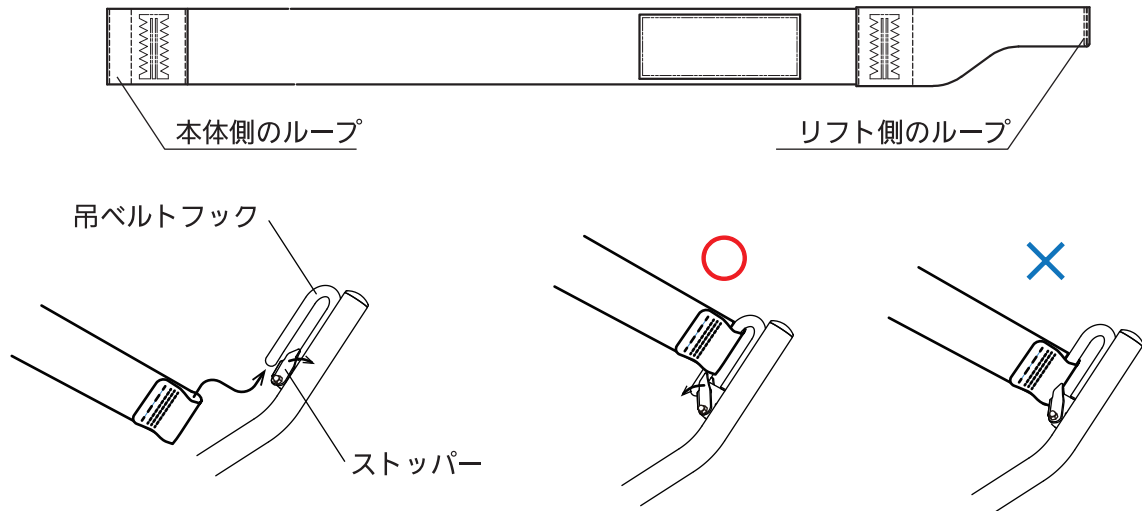
ベルトを通した後、軽く引っ張り、ベルトの長さが簡単に変わらないことを確認してください。
…ベルトの長さが簡単に変わる場合は、ベルトの通し方を間違えている可能性があり、ご利用者の転落の恐れがあります。

使用方法

吊ベルト

● 付けるとき

吊ベルトの本体側のループを、吊ベルトフックのストッパーを押して解除し、ストッパーより奥に通します。

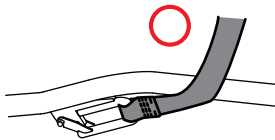


⚠ 危険

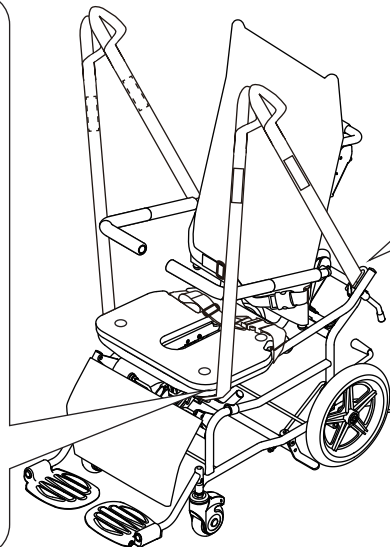
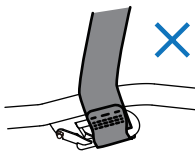
背側が青色、足側が黒色です。間違えないよう付けてください。
また、吊ベルトの経路も図のようにしてください。
・・・付け間違いは、吊上げた際にバランスを崩し、転倒する恐れがあります。



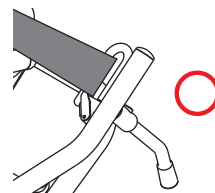
シートの横から出す



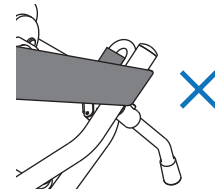
シートの前から出す



フックからそのまま出す



パイプの外側を通す

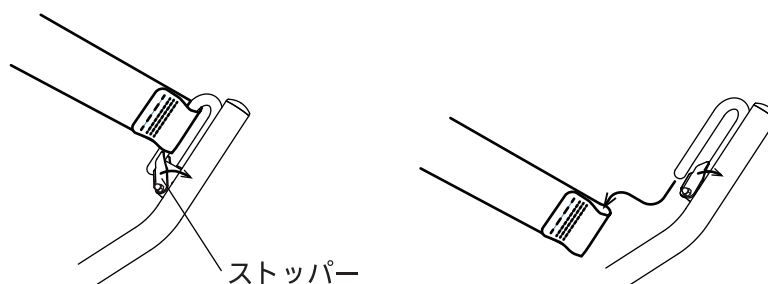


吊ベルトを付けた後は、必ずフックから抜けないか確認してください。

使用方法

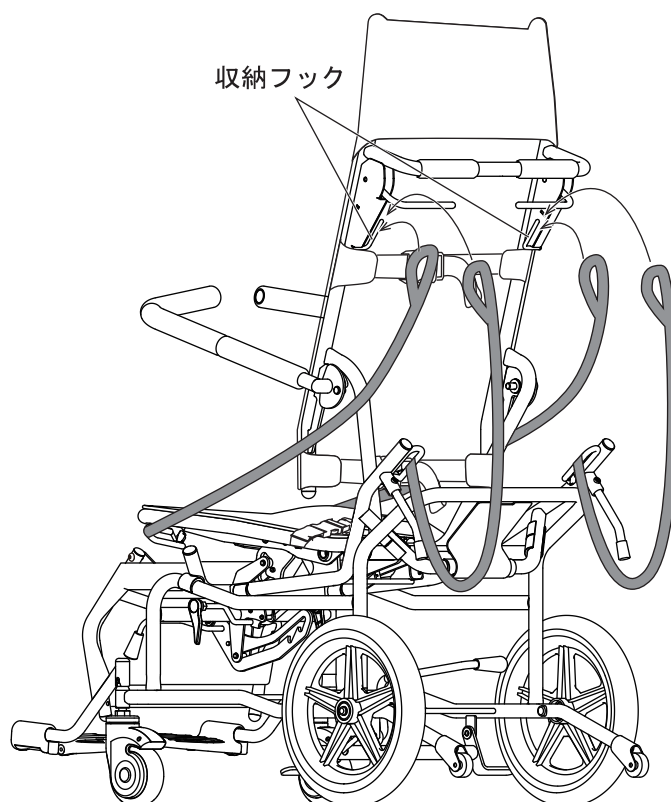
●外すとき

ストッパーを押して解除し、吊ベルトフックから抜いてください。



●収納するとき

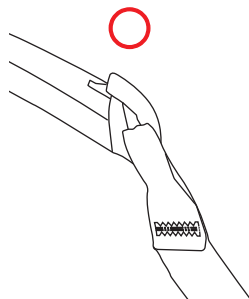
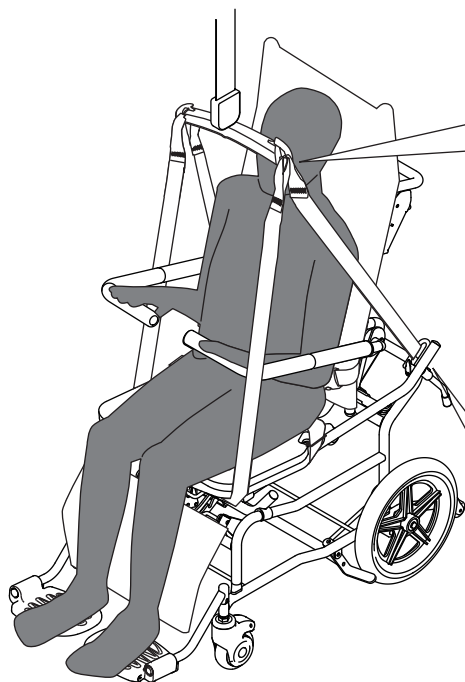
吊ベルトを使用しないときは、バックサポートの後側にある収納フックに引っかけて収納します。



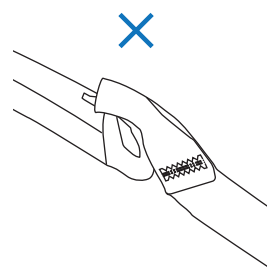
使用方法

リフト入浴

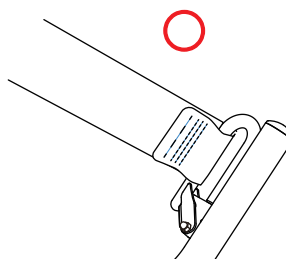
- ①本体をリフトの下に移動しブレーキをかけ、吊ベルトのループをリフトのフックにかけます。
吊ベルトの全てのループが、シートのフックおよびリフトのフックに正しく確実にかけられているか、通し方を間違えていないか確認します。



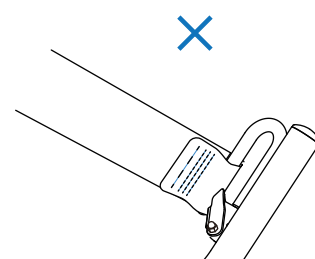
安全な状態です。



大変危険な状態です。
安全な状態になるよう
かけ直してください。



安全な状態です。



大変危険な状態です。
安全な状態になるよう
かけ直してください。

⚠ 危険

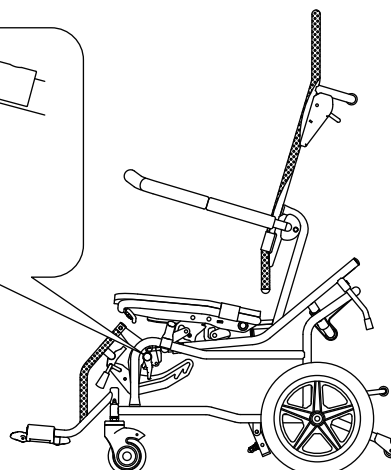


転落防止のため、必ずアームサポートを下ろし、安全ベルトを締めてご使用ください。



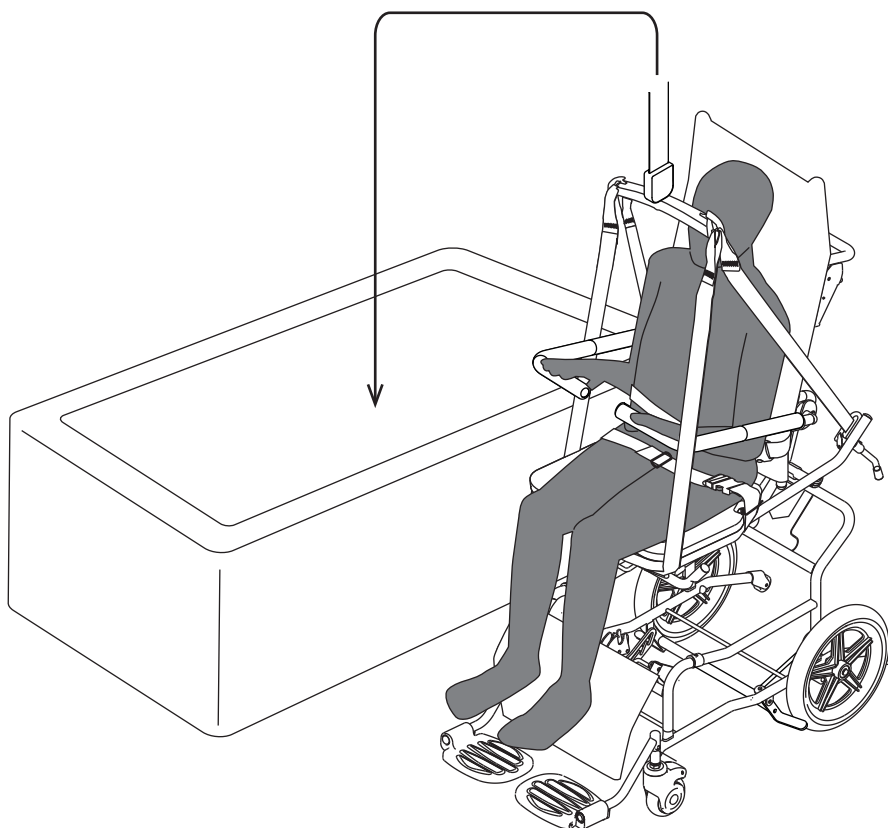
吊ベルトはねじれたり、交差することなくフックにかけてください。

- ②シートロックを解除します。



使用方法

③リフトで吊上げ、入浴させます。



⚠ 危険

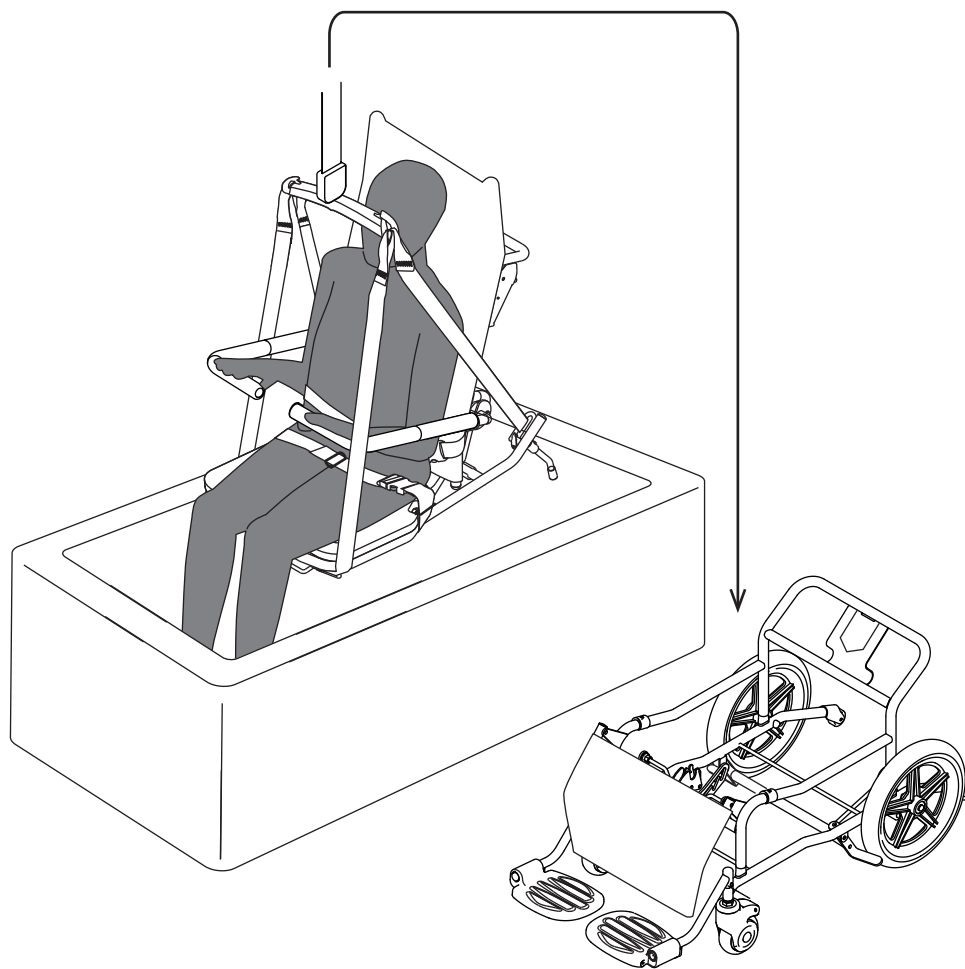
⚠	吊上げるときは、吊ベルトに軽く張力が働いた段階で、吊ベルトが外れかかっているか、途中で引っかかりがないかを必ず確認してください。 …バランスを崩し、転倒、転落する恐れがあります。
⚠	入浴中は浮力による転倒を防ぐため、吊ベルトにたるみがない状態で入浴させてください。

⚠ 注意

⚠	吊上げるときは、キャリーが引っかかり、一緒に吊上げていないか確認しながら上昇させてください。
⚠	手が吊ベルトに挟まれないよう注意してください。
⊘	吊った状態ではチルト・リクライニング機能は使用しないでください。また、アームサポートも開閉しないでください。 …事故や故障の原因になります。
⚠	バスタブに降ろす際は、ご利用者の手足（身体）のはさみ込みや物のはさみ込みに十分注意してください。
⚠	バスタブに降ろす際に、ご利用者がのけぞったり、足でつっぱたりするなどしてバランスを崩し、転倒、転落しないよう十分注意してください。

使用方法

④入浴後、リフトで吊上げ、キャリーの上まで移動します。



⚠ 危険



吊上げるときは、吊ベルトに軽く張力が働いた段階で、吊ベルトが外れかかっているか、途中に引っかりがないかを必ず確認してください。
…バランスを崩し、転倒、転落する恐れがあります。

⚠ 注意



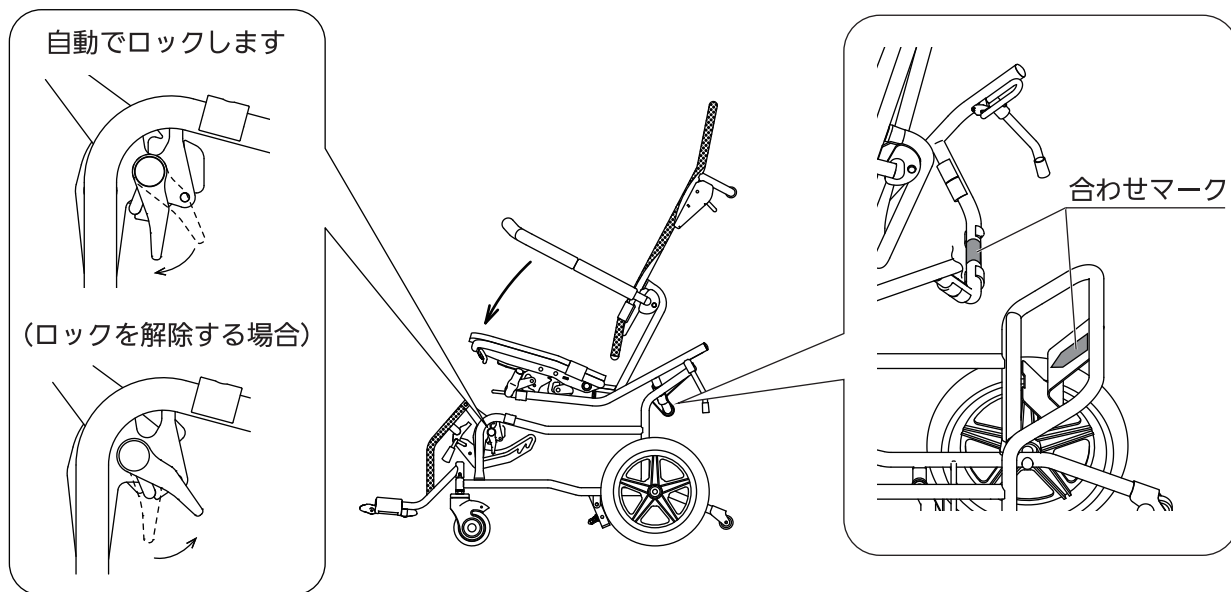
退浴するときは、ご利用者がシートの中央にきちんと乗るよう、浮力を利用し姿勢を直してから退浴してください。
…バランスを崩し、転落、転倒の恐れがあります。

使用方法

⑤リフトで下降させ、シートとキャリーを接続します。

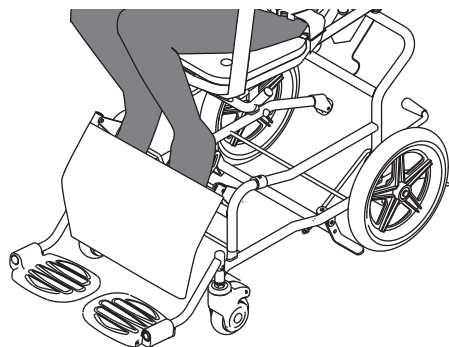
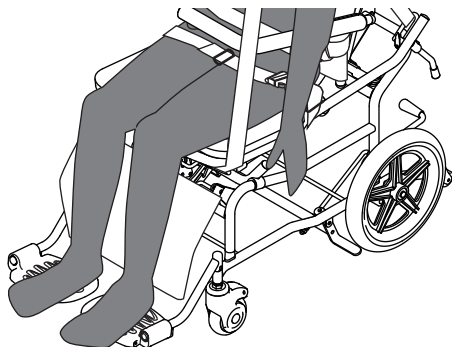
このとき、キャリーのブレーキはかけておきます。

後方にある合わせマークの位置を合わせながら、キャリーのへこみ部分をねらって下降させてください。シートの後方がへこみ部分に入った後、シート前方が下がり自動でロックがかかります。シート前方が先にロックされた場合は、シートが正しく接続できていません。一度ロックを解除し、再度接続をやり直してください。



⚠ 警告

接続時は手や足をはさみ込まないように十分注意してください。



シートとキャリーを接続した後は、必ずロックがかかっていることを確認してください。
…シートが不意に外れ、転倒する恐れがあります。

日常のお手入れ

ご利用者の衛生管理のため、本製品を清潔に保つ必要があります。お手入れはご使用の都度、行うことをおすすめいたします。

また、お手入れされる時は使用前点検（本書12ページ参照）も行っていただくと、トラブルを未然に防ぐことができ、より安全にご使用いただけます。

お手入れ方法

●清掃

水で薄めた中性洗剤にタオルを浸し、固く絞ってきれいに拭いてください。

マット類は中性洗剤で清掃後、タオルで水分を十分に拭取るか、日陰で平干ししてください。

ネット類、ベルト類は中性洗剤で洗濯してください。液温は40℃を限度とし、洗濯機の弱水流または、弱い手洗いで洗濯し日陰で平干ししてください。洗濯機をお使いになる場合は、必ず洗濯ネットを使用し、弱い水流で3分程洗った後、すすぎ3分、脱水30秒を目安としてください。

注意

	クレンザー、みがき粉などの洗剤は表面を傷つけるため使用しないでください。
	塩素系の洗剤は使用しないでください。必ず中性洗剤を使用してください。 …金属部分はさびます。ネット類、マット類、ベルト類は変色、劣化します。
	ネット類は、ドライクリーニング、乾燥機の使用、アイロンがけはできません。

●消毒

金属・プラスチック部分は、エタノールによる清拭消毒をお勧めします。

マット類、ベルト類については、次亜塩素酸ナトリウム（濃度0.02%程度）による清拭消毒をお勧めします。

注意

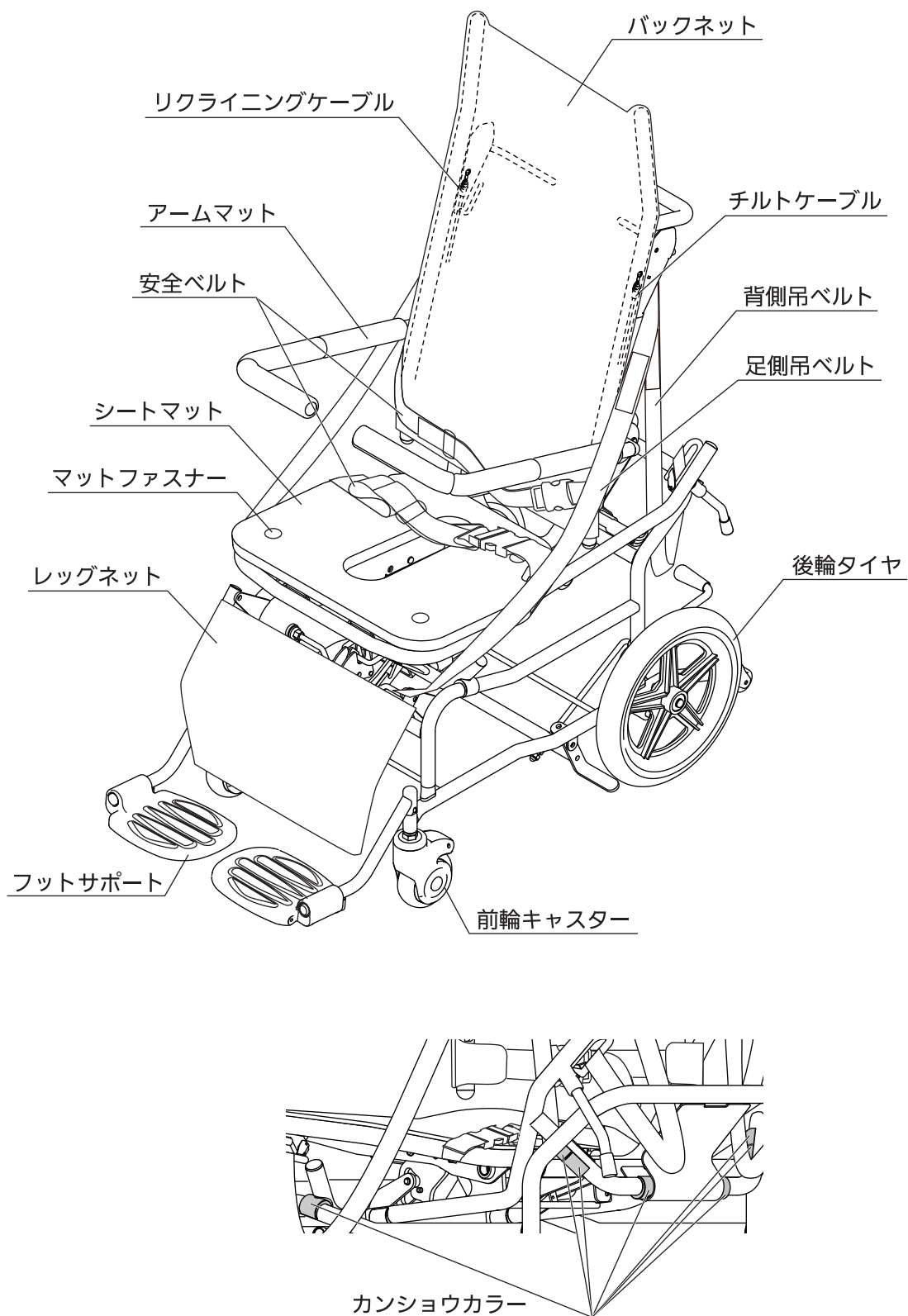
	熱湯や高温スチームによる消毒はしないでください。
	ネット類、ベルト類の消毒にエタノールは使用しないでください。

●保管

ご使用にならないときは、直射日光を避けて風通しの良い場所に保管してください。

注意

	薬品の揮発成分や腐食性ガスが充満する環境での保管、使用はしないでください。
---	---------------------------------------



消耗品の交換時期

消耗品（本書30ページ参照）が交換時期になっていないかご確認ください。

交換時期に該当するものがありましたら、ご購入先または弊社までお問合せください。

消耗品	交換時期	⚠ 注意
背側吊ベルト 足側吊ベルト	切れ目やほつれが出てきたときは、ただちに使用を中止し、すみやかに交換をしてください。また、ひどく汚れてきたとき。 なお、この状態になっていなくても <u>3年</u> を目安に交換してください。	転倒、ケガの原因になります。
前輪キャスター	しっかりと固定されているのにがたつくとき、タイヤ表面にひび割れや劣化、変形が現れたとき。	
後輪タイヤ	しっかりと固定されているのにがたつくとき、タイヤ表面にひび割れや劣化、変形が現れたとき。 また、表面の溝がなくなったとき。	
安全ベルト	ひどく汚れてきたとき。 切れ目やほつれが出てきたとき。	転落、ケガの原因になります。
バックネット	切れ目やほつれが出てきたときは、ただちに使用を中止し、すみやかに交換をしてください。また、ひどく汚れてきたとき。 なお、この状態になっていなくても <u>3年</u> を目安に交換してください。	
レッグネット		
アームマット	劣化したとき。ひどく汚れてきたとき。	
シートマット	劣化したとき。ひどく汚れてきたとき。	
マットファスナー	破損、紛失したとき。	
フットサポート	はね上げが維持できずに自然と倒れてしまうとき。 ひどく汚れてきたとき。破損したとき。	
チルトケーブル	インナーが伸びてしまったとき。 アウターの破損がひどいとき。 動きが悪いとき。	
リクライニングケーブル		
カンショウカラー	摩耗、変形、破損したとき。	

トラブルシューティング

次以外のトラブル内容および次以外の原因の場合、また、次の対処方法では解決しなかった場合は、ご購入先または弊社までお問合せください。トラブル解決までは、絶対に使用しないでください。

トラブル内容	主な原因	対処方法
本体ががたつく。	組付け部のゆるみ。 取付け不良。	使用を中止し、ご購入先または弊社までご連絡ください。
ブレーキがかからない。	後輪タイヤの摩耗。 後輪タイヤのがたつき。	
前輪カスターががたつく。	固定部のゆるみ。 前輪カスターの劣化。	
後輪タイヤががたつく。	後輪タイヤの摩耗、劣化。	
チルト・リクライニングができない。	ケーブルの伸びや破損。	
シートとキャリーがスムーズに接続できない。		

ご使用期間とアフターサービスについて

ご使用期間について

本製品は、標準的な使用環境と使用条件下で、本書にしたがって正しく使用した場合の標準使用期間を8年と定めています。この期間を超えて使用されますと、機能部品はもとより主要構造材も、経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が8年を超えた製品については、弊社同等製品への買替えをおすすめいたしますが、引続いての使用をご希望される場合は、必ず弊社にお問合せのうえオーバーホール^{※注2 注3}を受けてから使用してください。

詳細につきましては弊社までお問い合わせください。

注1：標準使用期間と保証書に記された無償修理の保証期間とは異なるものです。

注2：オーバーホールは、その後の無償修理の保証を約束するものではありません。

注3：お客様の強いご希望で、使用期間終了後オーバーホールを受けずに本製品を使用される場合は、本製品を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社はその責任を負いません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に本書をよくお読みになり、再度点検のうえ、なお異常がある場合には、ご購入先または弊社までお問合せください。

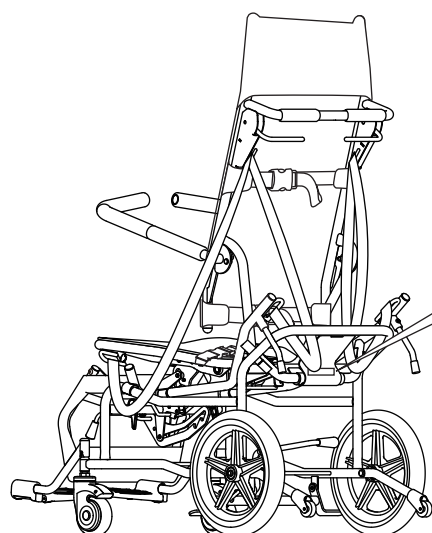
ご連絡いただきたい内容

ご住所・ご氏名・電話番号

商品名（ソエルキャリー+）・型番（CX-SC-201）・製造番号

ご購入先・お買い上げ日

故障、または異常の内容（できるだけ詳しくお願いいたします。）

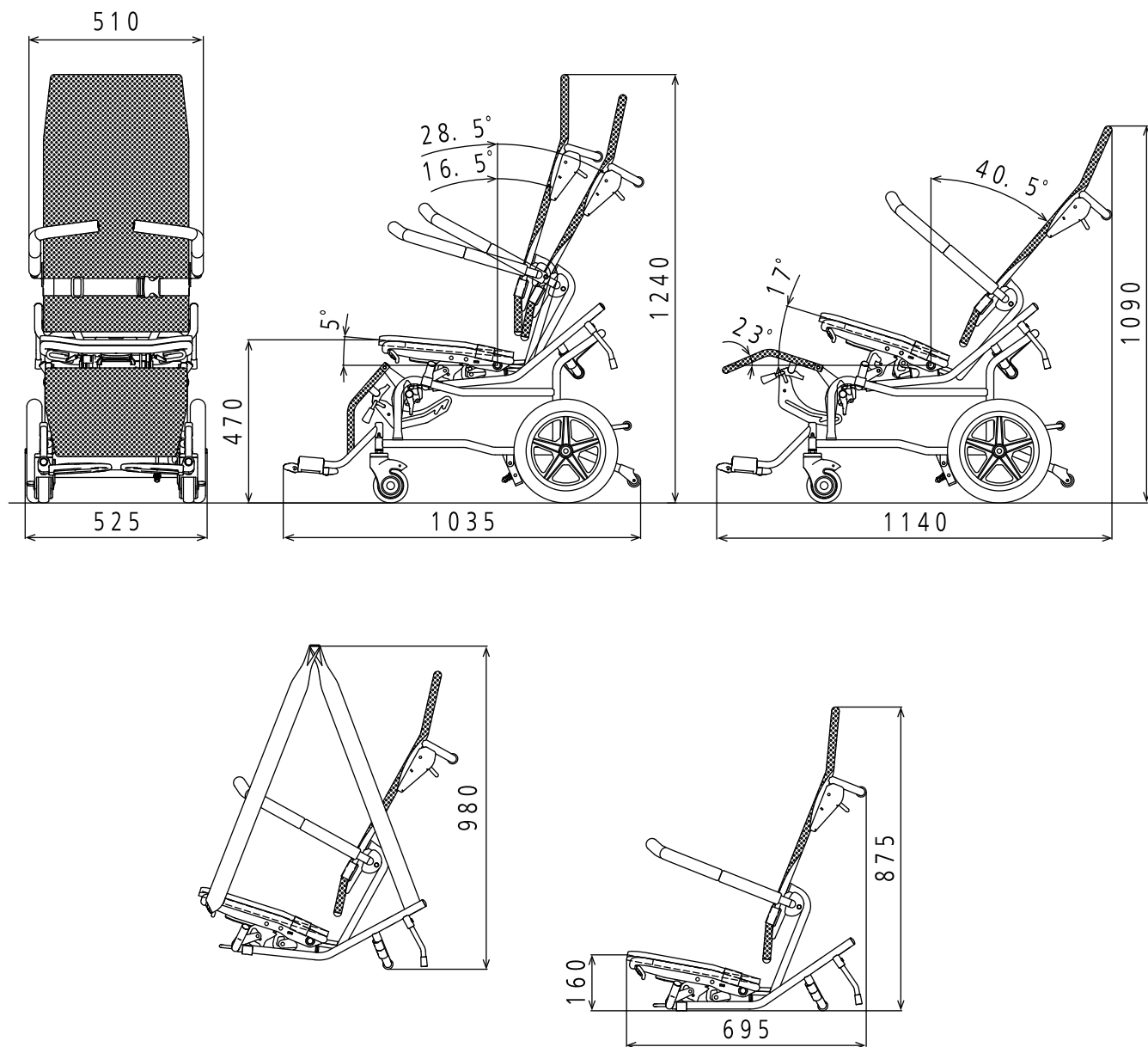


製造番号

No.

XXXXXX

仕様



重量	シート	16.2kg
	キャリー	12.1kg
	総重量	28.3kg
耐荷重		100kg
前輪キャスター径		100mm
後輪タイヤ径		300mm

保証書

商品名 ソエルキャリー+

型番 CX-SC-201

本書は、本書記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、販売店に修理をご依頼ください。保証期間は、お買上げ後1ヵ年です。

〈無償修理規定〉

- 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった「正常な使用状態」において故障した場合には、無償修理をいたします。ただし、交換時期となった取扱説明書記載の消耗品・交換部品は除きます。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、異常電圧による故障および損傷
 - 取扱説明書内に記載された使用目的以外に使用された場合の故障および損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。

※ 弊社は、弊社または販売店から直接、本製品をご購入いただいた第1次ご購入者であるお客様に対してのみ、この保証書に基づく責任を負うものとします。第1次ご購入者様からの転売などにより本製品を保有されるお客様に対しては、この保証書に基づく責任を含め、一切の責任を負いません。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、販売店にお問合せください。

※ 保証期間終了後の修理については、取扱説明書内“ご使用期間とアフターサービスについて”をご覧ください。

販売元: **JCLS** 日本ケアリフト
サービス株式会社
Embrace with Future

本社: 〒664-0871 兵庫県伊丹市堀池 5-1-8

TEL: 0120-188-027 FAX: 072-777-8857

URL <https://jcls.jp>

※以下の項目は必ずご記入ください。

お客様	販売店
ご住所 〒 -	
お電話 - -	
お名前 様	
お買上げ年月日 年 月 日	



日本ケアリフト
サービス株式会社
Embrace with Future

本社 〒664-0871 兵庫県伊丹市堀池 5-1-8
TEL : 0120-188-027 FAX : 072-777-8857

URL <https://jcls.jp>